

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年12月12日から2024年12月5日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス 米国の株式等 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■米国株式を実質的な投資対象とし、リバーサル戦略と銘柄選択により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス」における株式の銘柄選択にあたっては、個別企業のファンダメンタルズを勘案したリバーサル（逆張り）戦略により行います。外国投資信託証券における株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■株式への投資に加え、ツインαネオ戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 米国リバーサル戦略 ツインαネオ (毎月分配型) 【運用報告書(全体版)】

第16作成期（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

第 91 期 / 第 92 期 / 第 93 期  
決算日2022年7月5日 決算日2022年8月5日 決算日2022年9月5日

第 94 期 / 第 95 期 / 第 96 期  
決算日2022年10月5日 決算日2022年11月7日 決算日2022年12月5日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金 期 騰 落 中 率			
67期 (2020年7月6日)	円 3,236	円 25	% 0.8	% 0.6	% 96.6	百万円 2,937
68期 (2020年8月5日)	3,303	25	2.8	0.5	97.2	2,960
69期 (2020年9月7日)	3,353	25	2.3	0.3	97.8	2,944
70期 (2020年10月5日)	3,261	25	△2.0	0.5	97.7	2,844
71期 (2020年11月5日)	3,283	25	1.4	0.5	96.7	2,823
72期 (2020年12月7日)	3,417	50	5.6	0.3	97.2	2,776
73期 (2021年1月5日)	3,394	50	0.8	0.4	96.4	2,728
74期 (2021年2月5日)	3,485	50	4.2	0.4	97.1	2,730
75期 (2021年3月5日)	3,503	50	2.0	0.4	97.5	2,615
76期 (2021年4月5日)	3,635	50	5.2	0.4	97.7	2,619
77期 (2021年5月6日)	3,590	50	0.1	0.5	97.3	2,513
78期 (2021年6月7日)	3,680	25	3.2	0.4	97.2	2,483
79期 (2021年7月5日)	3,754	25	2.7	0.4	97.0	2,450
80期 (2021年8月5日)	3,701	25	△0.7	0.4	97.4	2,345
81期 (2021年9月6日)	3,757	25	2.2	0.4	97.3	2,338
82期 (2021年10月5日)	3,628	25	△2.8	0.4	97.0	2,161
83期 (2021年11月5日)	3,775	25	4.7	0.4	96.8	2,154
84期 (2021年12月6日)	3,634	25	△3.1	0.4	97.3	2,039
85期 (2022年1月5日)	3,822	25	5.9	0.3	96.8	2,004
86期 (2022年2月7日)	3,735	25	△1.6	0.3	97.8	1,932
87期 (2022年3月7日)	3,553	50	△3.5	0.3	97.0	1,819
88期 (2022年4月5日)	3,791	50	8.1	0.4	97.6	1,904
89期 (2022年5月6日)	3,664	25	△2.7	0.4	97.4	1,811
90期 (2022年6月6日)	3,523	50	△2.5	0.5	96.9	1,721
91期 (2022年7月5日)	3,489	50	0.5	0.5	96.7	1,688
92期 (2022年8月5日)	3,474	50	1.0	0.6	96.5	1,662
93期 (2022年9月5日)	3,498	50	2.1	0.4	96.4	1,669
94期 (2022年10月5日)	3,456	50	0.2	0.4	96.4	1,634
95期 (2022年11月7日)	3,432	50	0.8	0.4	96.3	1,607
96期 (2022年12月5日)	3,216	50	△4.8	0.4	96.4	1,500

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
			組 入 比 率		
第91期	(期 首) 2022年 6 月 6 日	円 3,523	% —	% 0.5	% 96.9
	6 月末	3,560	1.1	0.5	95.4
	(期 末) 2022年 7 月 5 日	3,539	0.5	0.5	96.7
第92期	(期 首) 2022年 7 月 5 日	3,489	—	0.5	96.7
	7 月末	3,528	1.1	0.5	96.7
	(期 末) 2022年 8 月 5 日	3,524	1.0	0.6	96.5
第93期	(期 首) 2022年 8 月 5 日	3,474	—	0.6	96.5
	8 月末	3,559	2.4	0.4	95.1
	(期 末) 2022年 9 月 5 日	3,548	2.1	0.4	96.4
第94期	(期 首) 2022年 9 月 5 日	3,498	—	0.4	96.4
	9 月末	3,392	△3.0	0.4	94.9
	(期 末) 2022年10月 5 日	3,506	0.2	0.4	96.4
第95期	(期 首) 2022年10月 5 日	3,456	—	0.4	96.4
	10 月末	3,503	1.4	0.4	96.5
	(期 末) 2022年11月 7 日	3,482	0.8	0.4	96.3
第96期	(期 首) 2022年11月 7 日	3,432	—	0.4	96.3
	11 月末	3,286	△4.3	0.4	94.9
	(期 末) 2022年12月 5 日	3,266	△4.8	0.4	96.4

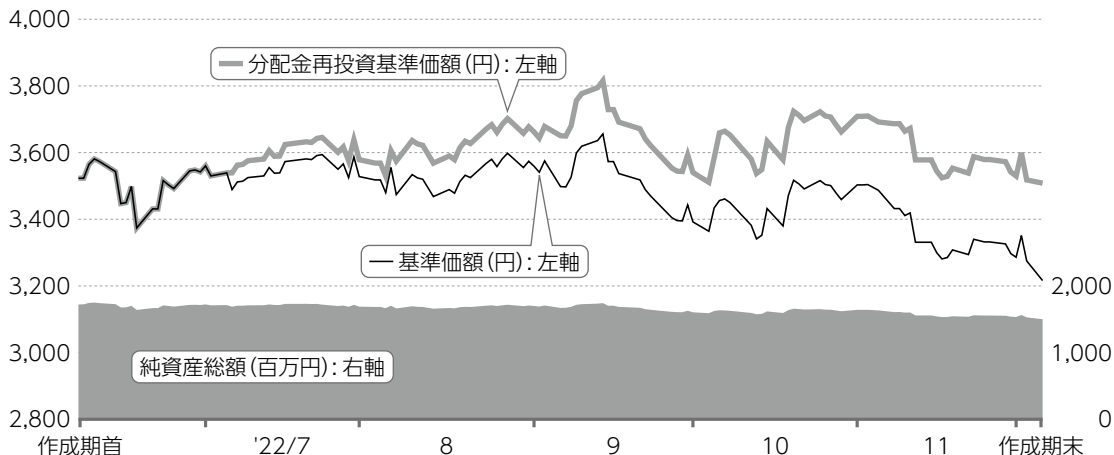
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	3,523円
作成期末 (当作成期既払分配金300円(税引前))	3,216円
騰落率 (分配金再投資ベース)	-0.4%

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年6月7日から2022年12月5日まで)

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン $\alpha$ ネオクラスへの投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせ運用を行いました。

上昇要因

- 期間を通じてみれば、米ドル高・円安となったこと

下落要因

- 「通貨カバードコール戦略」がマイナスに作用したこと

投資環境について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

期間における米国株式市場はほぼ横ばいとなり、為替市場は米ドル高・円安となりました。

## 米国株式市場

米国株式市場はほぼ横ばいとなりました。期間の初めから6月中旬にかけ、インフレへの警戒感が再燃し、さらにCPI（消費者物価指数）上昇率が上振れしたほか、ECB（欧州中央銀行）が利上げに踏み切る姿勢を明らかにしたこともあり、米国株式市場は急落しました。6月下旬から8月中旬にかけては、長期金利（10年国債利回り）が低下基調で推移したことや、7月末のFOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げ幅が市場予想通りとなり、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が今後の利上げペースを緩める可能性に言及したことなどから、米国株式市場は上昇しました。しかしながら、8月中旬以降は、一部の半導体企業の軟調な業績見通しの発表や、FRBのタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な姿勢を嫌気して、株式市場は再び調整しました。10月中旬まで株式市場は下落しましたが、その後は期間末にかけて利上げペースの緩和期待が強まったことなどから株式市場は反発し、期間を通じてみるとほぼ横ばいとなりました。

## 為替市場

米ドル・円相場は、期間の初めから10月中旬にかけては、FRBがタカ派色を強めることで、日米における金融政策の方向性の違いや金利差拡大を背景に米ドル高・円安となりました。その後、米国の利上げペースの緩和期待が強まったことなどから、米ドル・円相場は反転し、期間末にかけて米ドル安・円高基調となりましたが、期間末の米ドル・円は、期間の初めと比較して米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

## 当ファンド

主要投資対象であるコロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン $\alpha$ ネオクラスを、期間を通じて高位に組み入れました。

## コロンビア・USコントラリアン・ ファンド ツイン $\alpha$ ネオクラス

当ファンドの運用戦略であるリバーサル戦略（ファンダメンタルズ（基礎的条件）分析および株価水準を考慮した逆張り投資）に基づき、現物株式ポートフォリオを運用しました。

また、米国株価指数（原則としてS & P 500指数とします。）のコールオプションの売りを行う「株式カバードコール戦略」および円に対する米ドルのコールオプションの売りを行う「通貨カバードコール戦略」を活用し、運用を行いました。

現物株式ポートフォリオは、S & P 500指数をアンダーパフォームしました。

期間における主な売買としては、The Procter & Gamble Company、General Electric Company、Parker - Hannifin Corporationなどを購入する一方、Medtronic PLC、Global Payments Inc.、Ecolab Inc.などを売却しました。

## マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### ベンチマークとの差異について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	(1.41%)	(1.42%)	(1.41%)	(1.43%)	(1.44%)	(1.53%)
当期の収益	0	0	0	－	－	－
当期の収益以外	49	49	49	50	50	50
翌期繰越分配対象額	3,546	3,496	3,446	3,396	3,346	3,296

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。



## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン $\alpha$ ネオクラスへの投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### コロンビア・USコントラリアン・ ファンド ツイン $\alpha$ ネオクラス

金融市場では、主にインフレ率の上昇や、FRBによる利上げのペースとタイミング、ロシアのウクライナ侵攻を中心とする地政学的懸念や、中国における成長懸念などが依然として懸念材料になっています。しばらくは弱気相場が続く可能性があり、弱気相場が長期化する恐れもあると見込まれます。当ファンドの運用チームは、市場において投資機会を引き続き見出しており、極

端に厳しい経済環境の中で、増益を続けることができる「強固な」企業に注目していません。

当ファンドでは、ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティ（価格変動性）が高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

### マネー・マネジメント・マザーファンド

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### 1万口当たりの費用明細（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	23円	0.670%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は3,479円です。
（投信会社）	(8)	(0.219)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(15)	(0.438)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.013)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	23	0.675	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

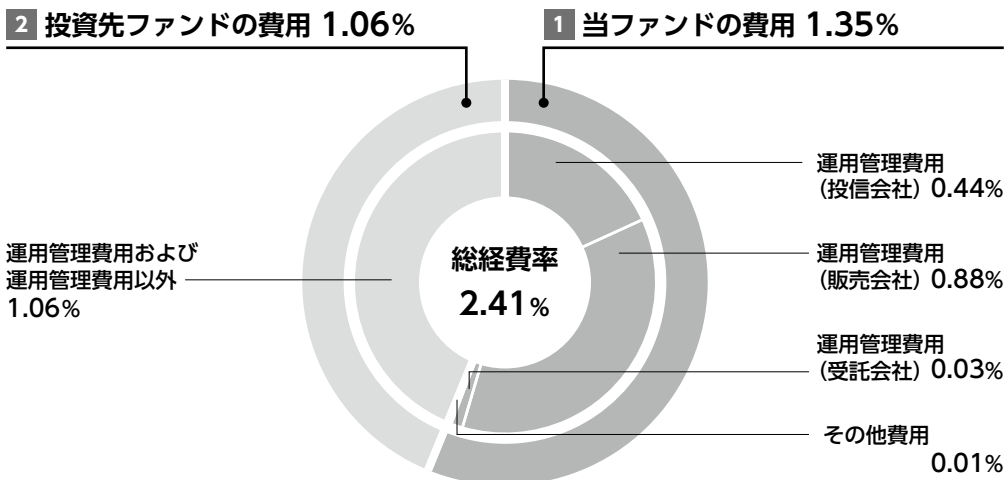
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



<b>総経費率(1 + 2)</b>	<b>2.41%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>1.35%</b>
<b>2 投資先ファンドの費用の比率</b>	<b>1.06%</b>

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.41%です。

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

#### 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コロムビア・USコントラリアン・ ファンド ツインαネオクラス	口 96,925,111	千円 21,635	口 1,144,973,879	千円 253,481

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2022年6月7日から2022年12月5日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年6月7日から2022年12月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### ■ 組入れ資産の明細（2022年12月5日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス	7,724,032,305	6,675,983,537	1,446,685	96.4
合計	7,724,032,305	6,675,983,537	1,446,685	96.4

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
マネー・マネジメント・マザーファンド	11,349	11,349	11,309

※マネー・マネジメント・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は17,332,215口です。

### ■ 投資信託財産の構成

（2022年12月5日現在）

項目	作成期末	比率
	評価額	
投資信託受益証券	1,446,685	94.8
マネー・マネジメント・マザーファンド	11,309	0.7
コール・ローン等、その他	68,013	4.5
投資信託財産総額	1,526,007	100.0

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年7月5日) (2022年8月5日) (2022年9月5日) (2022年10月5日) (2022年11月7日) (2022年12月5日)

項 目	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末	第 94 期 末	第 95 期 末	第 96 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>1,714,721,010円</b>	<b>1,689,804,637円</b>	<b>1,695,851,778円</b>	<b>1,660,473,466円</b>	<b>1,633,348,947円</b>	<b>1,526,007,694円</b>
コール・ローン等	70,063,753	73,082,902	73,859,701	72,861,147	73,742,040	68,013,033
投資信託受益証券(評価額)	1,633,344,823	1,604,147,305	1,610,680,778	1,576,302,155	1,547,467,643	1,446,685,632
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	11,312,434	11,312,434	11,311,299	11,310,164	11,310,164	11,309,029
未 収 入 金	—	1,261,996	—	—	829,100	—
<b>(B) 負 債</b>	<b>26,383,671</b>	<b>27,317,677</b>	<b>25,855,298</b>	<b>25,652,278</b>	<b>26,317,860</b>	<b>25,060,840</b>
未払収益分配金	24,193,291	23,928,223	23,873,700	23,648,708	23,412,449	23,337,152
未 払 解 約 金	351,968	1,403,666	3,543	101,096	845,813	27,800
未 払 信 託 報 酬	1,823,451	1,955,523	1,932,769	1,843,028	1,984,639	1,607,644
その他未払費用	14,961	30,265	45,286	59,446	74,959	88,244
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,688,337,339</b>	<b>1,662,486,960</b>	<b>1,669,996,480</b>	<b>1,634,821,188</b>	<b>1,607,031,087</b>	<b>1,500,946,854</b>
元 本	4,838,658,336	4,785,644,707	4,774,740,101	4,729,741,758	4,682,489,858	4,667,430,528
次期繰越損益金	△3,150,320,997	△3,123,157,747	△3,104,743,621	△3,094,920,570	△3,075,458,771	△3,166,483,674
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>4,838,658,336口</b>	<b>4,785,644,707口</b>	<b>4,774,740,101口</b>	<b>4,729,741,758口</b>	<b>4,682,489,858口</b>	<b>4,667,430,528口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>3,489円</b>	<b>3,474円</b>	<b>3,498円</b>	<b>3,456円</b>	<b>3,432円</b>	<b>3,216円</b>

※当作成期における作成期首元本額4,885,320,516円、作成期中追加設定元本額73,344,555円、作成期中一部解約元本額291,234,543円です。  
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### ■ 損益の状況

〔自2022年6月7日〕〔自2022年7月6日〕〔自2022年8月6日〕〔自2022年9月6日〕〔自2022年10月6日〕〔自2022年11月8日〕  
〔至2022年7月5日〕〔至2022年8月5日〕〔至2022年9月5日〕〔至2022年10月5日〕〔至2022年11月7日〕〔至2022年12月5日〕

項 目	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,740円	△ 618円	△ 1,431円	△ 2,486円	△ 2,716円	△ 2,257円
受 取 利 息	265	50	-	256	61	4
支 払 利 息	△ 2,005	△ 668	△ 1,431	△ 2,742	△ 2,777	△ 2,261
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	9,654,234	18,461,347	37,094,865	6,036,370	13,918,252	△ 75,944,509
売 買 益	10,005,871	19,061,302	37,221,161	7,134,716	14,058,737	157,151
売 買 損	△ 351,637	△ 599,955	△ 126,296	△ 1,098,346	△ 140,485	△ 76,101,660
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,838,295	△ 1,971,491	△ 1,948,580	△ 1,858,062	△ 2,000,952	△ 1,621,751
当期損益金(A+B+C)	7,814,199	16,489,238	35,144,854	4,175,822	11,914,584	△ 77,568,517
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,126,826,477	△ 2,112,774,647	△ 2,109,823,030	△ 2,074,535,878	△ 2,067,734,839	△ 2,066,990,757
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,007,115,428	△ 1,002,944,115	△ 1,006,191,745	△ 1,000,911,806	△ 996,226,067	△ 998,587,248
(配当等相当額)	( 722,462,341)	( 717,746,701)	( 718,609,993)	( 713,692,975)	( 708,828,914)	( 708,833,721)
(売買損益相当額)	(△ 1,729,577,769)	(△ 1,720,690,816)	(△ 1,724,801,738)	(△ 1,714,604,781)	(△ 1,705,054,981)	(△ 1,707,420,969)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 3,126,127,706	△ 3,099,229,524	△ 3,080,869,921	△ 3,071,271,862	△ 3,052,046,322	△ 3,143,146,522
(H) 収 益 分 配 金	△ 24,193,291	△ 23,928,223	△ 23,873,700	△ 23,648,708	△ 23,412,449	△ 23,337,152
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 3,150,320,997	△ 3,123,157,747	△ 3,104,743,621	△ 3,094,920,570	△ 3,075,458,771	△ 3,166,483,674
追加信託差損益金	( 1,007,115,428)	( 1,002,944,115)	( 1,006,191,745)	( 1,000,911,806)	( 996,226,067)	( 998,587,248)
(配当等相当額)	( 722,462,343)	( 717,746,705)	( 718,609,995)	( 713,692,976)	( 708,828,915)	( 708,833,723)
(売買損益相当額)	(△ 1,729,577,771)	(△ 1,720,690,820)	(△ 1,724,801,740)	(△ 1,714,604,782)	(△ 1,705,054,982)	(△ 1,707,420,971)
分配準備積立金	993,383,155	955,422,362	926,892,607	892,691,504	858,138,315	829,775,891
繰 越 損 益 金	△ 3,136,588,724	△ 3,075,635,994	△ 3,025,444,483	△ 2,986,700,268	△ 2,937,371,019	△ 2,997,672,317

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,218円	5,135円	3,042円	1,076円	1,776円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	722,462,343	717,746,705	718,609,995	713,692,976	708,828,915	708,833,723
(d) 分配準備積立金	1,017,573,228	979,345,450	950,763,265	916,339,136	881,548,988	853,113,043
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,740,038,789	1,697,097,290	1,669,376,302	1,630,033,188	1,590,379,679	1,561,946,766
1万口当たり当期分配対象額	3,596.12	3,546.22	3,496.27	3,446.35	3,396.44	3,346.48
(f) 分配金	24,193,291	23,928,223	23,873,700	23,648,708	23,412,449	23,337,152
1万口当たり分配金	50	50	50	50	50	50

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、株価指数オプション取引、通貨オプション取引を活用します。
投資方針	<p>1. 主として米国の株式等に投資しつつ、株価指数と通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、中長期的な信託財産の成長を目指します。</p> <p>&lt;米国株リバーサル投資戦略&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。</li> <li>・株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。</li> </ul> <p>&lt;株式カバードコール戦略&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式カバードコール戦略は、米国株価指数（原則S &amp; P 500指数）にかかるコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。</li> <li>・株式カバードコール戦略は、投資環境によっては、保有する米ドル建て資産の評価額の約50%程度または約100%程度のコールオプションの売りを行います。カバー率の変更にあたっては、UBS株式リスク指標を活用します。</li> </ul> <p>&lt;通貨カバードコール戦略&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通貨カバードコール戦略は、円に対する米ドルのコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。</li> <li>・通貨カバードコール戦略は、原則として保有する米ドル建て資産の評価額の50%程度のコールオプションの売りを行います。</li> </ul> <p>※カバードコール戦略では、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。</p> <p>※カバードコール戦略については、UBS AG ロンドン支店をカウンターパーティとするスワップ取引を通じて当該戦略を行った場合の投資成果を享受します。</p> <p>2. 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができません場合があります。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式等への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
分配方針	原則毎月行います。
管理報酬 その他費用	<p>管理報酬等：年0.64%</p> <p>上記の他、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、受託会社の費用、管理事務費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券等の保管に関する費用、設立費用、弁護士費用、財務諸表の監査にかかる費用や信託財産の事務に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー

以下には、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス」をシェアクラスとして含む「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。



## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### 包括利益計算書 2021年9月30日に終了した年度

	2021年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)	2020年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)
収益		
受取配当金	60,979,118	78,065,614
受取利息	4,446,704	562,189
外国為替の利益／（損失）	14,824,875	(9,922,278)
金融資産負債に係る公正価値の変動	1,176,563,138	(167,521,694)
利益／（損失） 計	1,256,813,835	(98,816,169)
費用		
受託会社報酬及び管理会社費用	2,139,124	2,156,182
副管理会社費用	12,709,289	12,741,110
カストディーフィー	6,705,868	4,511,870
投資運用報酬	19,609,142	19,318,010
運用報酬	3,699,695	3,946,482
取引費用	1,386,138	2,076,392
スワップ関連費用	3,539,971	4,890,614
コラテラル・エージェント・フィー	771,166	513,196
その他費用	3,032,326	2,793,209
費用 計	53,592,719	52,947,065
税引き前利益／（損失）	1,203,221,116	(151,763,234)
源泉税	(16,568,118)	(20,942,719)
受益者に帰属する純資産の増加（減少）（設立費用調整前）	1,186,652,998	(172,705,953)
設立費用調整額	(510,048)	(516,792)
受益者に帰属する純資産の増加（減少）（設立費用調整後）	1,186,142,950	(173,222,745)

## 米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

### 組入上位銘柄

（基準日：2021年9月30日）

	銘柄名	業種名	比率
1	Microsoft Corporation	情報技術	6.6%
2	Apple Inc.	情報技術	5.6%
3	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	4.7%
4	Raytheon Technologies Corporation	資本財・サービス	2.9%
5	Alphabet Inc. Class C	コミュニケーション・サービス	2.9%
6	Alphabet Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.7%
7	Facebook, Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.6%
8	Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	2.5%
9	Johnson & Johnson	ヘルスケア	2.5%
10	Mastercard Incorporated Class A	情報技術	2.3%
	全銘柄数	76銘柄	

※比率は保有現物株の時価総額に対する割合

# マネー・マネジメント・マザーファンド

第9期（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2013年6月3日）
運用方針	■安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 組 入 社 比	債 率	純 総 資 産 額
		騰 落	中 率			
5期（2018年7月25日）	円		%		%	百万円
	9,995		△0.1		83.5	49
6期（2019年7月25日）	9,988		△0.1		86.0	37
7期（2020年7月27日）	9,979		△0.1		88.0	27
8期（2021年7月26日）	9,972		△0.1		62.4	27
9期（2022年7月25日）	9,967		△0.1		80.9	17

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

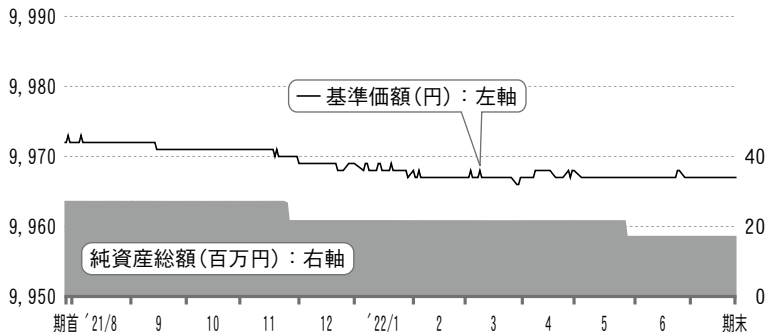
年 月 日	基 準	価 額		公 組 入 社 比	債 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2021年7月26日	9,972		—		62.4
7月末	9,972		0.0		62.4
8月末	9,972		0.0		62.3
9月末	9,971		△0.0		55.1
10月末	9,971		△0.0		55.1
11月末	9,969		△0.0		69.0
12月末	9,969		△0.0		55.3
2022年1月末	9,968		△0.0		55.3
2月末	9,967		△0.1		55.3
3月末	9,967		△0.1		64.5
4月末	9,968		△0.0		64.4
5月末	9,967		△0.1		81.0
6月末	9,967		△0.1		80.9
(期 末)					
2022年7月25日	9,967		△0.1		80.9

※騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

### 基準価額等の推移



期首	9,972円
期末	9,967円
騰落率	-0.1%

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

### 下落要因

- ・ マイナス金利政策導入を背景として無担保コールレートがマイナス化していること

## ▶ 投資環境について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

期間における国内短期金融市場は、マイナス圏で推移しました。

### 国内短期金融市場

国内短期金融市場では、期間の初め-0.11%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%~-0.20%の狭いレンジで推移し、-0.15%近辺で期間末を迎えました。

▶ **ポートフォリオについて (2021年7月27日から2022年7月25日まで)**

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

▶ **ベンチマークとの差異について (2021年7月27日から2022年7月25日まで)**

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

■ **1万口当たりの費用明細 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)**

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.006% (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.006	

期中の平均基準価額は9,969円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。  
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ **当期中の売買及び取引の状況 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)**

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特殊債券	14,107	— (17,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2022年7月25日現在)

公社債

### A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	14,000 (14,000)	14,022 (14,022)	80.9 (80.9)	— (—)	— (—)	— (—)	80.9 (80.9)
合 計	14,000 (14,000)	14,022 (14,022)	80.9 (80.9)	— (—)	— (—)	— (—)	80.9 (80.9)

※（ ）内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

### B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除く金融債券)	39政保地方公共団	0.8010	5,000	5,002	2022/08/15
	1 政保新関西空港	0.8010	2,000	2,001	2022/08/29
	175 政保道路機構	0.7910	2,000	2,004	2022/10/31
	42政保地方公共団	0.8050	5,000	5,013	2022/11/14
合 計		—	14,000	14,022	—

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## ■ 投資信託財産の構成

(2022年7月25日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 14,022	% 80.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,311	19.1
投 資 信 託 財 産 総 額	17,333	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年7月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	17,333,886円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,285,560
公 社 債(評価額)	14,022,488
未 収 利 息	25,838
(B) 負 債	3,025
未 払 解 約 金	3,000
そ の 他 未 払 費 用	25
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	17,330,861
元 本	17,388,524
次 期 繰 越 損 益 金	△ 57,663
(D) 受 益 権 総 口 数	17,388,524口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	9,967円

※当期における期首元本額27,414,261円、期中追加設定元本額90,322円、期中一部解約元本額10,116,059円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

タフ・アメリカ(マネーボールファンド)	3,457,179円
米国小型株ツインα(毎月分配型)	552,681円
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	1,998,801円
米国リバーサル戦略ツインαネオ(毎月分配型)	11,349,889円
日本株アルファ・カルテット(年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2021年7月27日 至2022年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	122,522円
受 取 利 息	126,635
支 払 利 息	△ 4,113
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△133,981
売 買 損	△133,981
(C) そ の 他 費 用 等	△ 1,431
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 12,890
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 76,231
(F) 解 約 差 損 益 金	31,778
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 320
(H) 合 計(D + E + F + G)	△ 57,663
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 57,663

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。